

— 関西大学 —

2月4日 法・文・商・社会安全・総合情報学部 英語

解答

[I]

- A. (1) D (2) B (3) C (4) B (5) A
B. (1) E (2) C (3) D (4) Z (5) F
(6) B

[II]

- A. (1) A (2) C (3) B (4) A (5) B
(6) C (7) A (8) B (9) D (10) D
(11) C (12) A (13) C (14) A (15) A
B. (1) B (2) A (3) B (4) C (5) B
(6) B (7) A

[III]

- A. (1) C (2) B (3) B (4) A (5) B
(6) C (7) A (8) A (9) B (10) C
B. (1) A (2) C (3) A (4) B (5) B
(6) A (7) C

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

〔Ⅱ〕

A.

- (1) 「～から始まる」は、自動詞の **start** を使って“**start with ～**”と表せる。ここでは分詞構文であることから、**A. starting** が適切である。
- (2) 接続詞を問う問題。「将軍家光が彼らの宗教キリスト教は日本社会にとって脅威であると考えたので、ポルトガル人は追放された」という文脈から、因果関係を表す **C. because** が適切である。
- (3) 後続の **admired** という過去分詞を修飾する副詞を選ぶ問題だが、そのような副詞は **B. much** 「大いに」しかない。**D. great** は形容詞なので分詞を修飾することはできない。**greatly** なら可能。
- (4) 第3段落では、ポルトガルの料理 **peixinhos da horta** が日本の天ぷらに影響を与えたことが述べられている。しかしながら **peixinhos da horta** は世界中でポルトガル料理が影響を与えた料理の唯一のものというわけではない。このように、逆接関係を読み取れば **A. However** が適切である。
- (5) 「ポルトガル人がインドのゴアに到着して、そこに 1961 年まで滞在した」という文脈から、**B. stayed until** が適切である。オトリは **A. stayed by** であるが、**by** は「～までには」という期限の意味であり、ここでは意味が通らない。
- (6) 「**carne de vinha d'alhos** というポルトガル料理が地元の人に採用されて、今日最も人気のあるインド料理の1つである **vindaloo** になった」という文脈から、**C. adopted** が適切である。
- (7) 「今日、ポルトガル人がかつて航海したところはどこでも、その料理が変化したものを見つけることができる」という文脈から、**A. everywhere** が適切である。
- (8) **peixinhos da horta** は肉を食べることが禁止されている断食期間によく食べられていたのだが、その理由は「その期間に肉が食べられないならば、**peixinhos da horta** がその良い代用品だった」からである。よって、**B. replacement** 「代用(品)」が適切である。
- (9) 「おそらく日本人は伝統に縛られて(=制限されて)いなかったもので、(天ぷらの)衣を軽くし中身を変えた」という文脈から、**D. restricted** 「制限されて」が適切である。
- (10) 「日本人は我々(ポルトガル人)からその料理(天ぷら)を受け継ぎ、それをより良いものにした」という文脈から、**D. inherited** 「～を受け継ぐ、引き継ぐ」が適切である。
- (11) ポルトガル料理の店で日本人客が天ぷらの元祖 **peixinhos da horta** を食べた時に「ポルトガル料理は日本の料理の影響を受けている」と発言したが、天ぷらはポルトガル料理から来たものだから、**Avillez** は「いいえ、この場合は逆ですよ」と発言した。よって、**C. other way around** 「逆で、あべこべで」が適切である。
- (12) **peixinhos da horta** の弱点は、時間が経つと冷めて柔らかくなることであるが「この問題を **Avillez** は、注文を聞いて調理することだけでなく、カリッとした食感を保つ小麦粉を加えることによっても手当てしている」という文脈から、**A. treats** が適切である。
- (13) **peixinhos da horta** の作り方を述べた文なので、料理に慣れていない人には難しかったかもしれない。「豆をサッと茹でた後、小麦粉、卵、牛乳、**nutrios** の中をくぐらせて、短い時間で揚げる」という文脈から、**C. After** が適切である。

- (14) 第 11 段落 3 文目には「最近 *peixinhos da horta* は過去への回帰をしている」とあることから「彼ら(若者たち)は以前よりシンプルな時代へと連れ戻されたいと思っている」というように考え、A. *back* が適切である。
- (15) 「*peixinhos da horta* は 2012 年のオープン以来 *Cantinho do Avillez* のメニューにずっとある常に変わらない料理の 1 つなのだ」という文脈から、A. *consistent* が適切である。なお、C. *popular* を選ぶとこの店には人気料理が少ないとも取れるので不適切である。

B.

- (1) 第 1 段落 1 文目に、「ポルトガル人 3 人を乗せた中国船は当初マカオに向かっていたが、風に流されてコースを外れてしまい、その結果日本の種子島に流れ着いた」と書かれていることから、B. 「日本に来るつもりはなかったのだ」が適切である。
- (2) 第 3 段落には、「1543 年には、*peixinhos da horta* は存在していたことは確実だが、その起源は誰にもわからない」と書かれている。よって、A. 「*peixinhos da horta* がどこでどのようにして初めて作られたのかを彼は知らない」が適切である。
- (3) 第 7 段落最終文には、「肉を保存する様々な手段を使うのと同じように、船乗りは長い航海中に豆を保存するために、それらを油で揚げていた」と書かれている。この内容に最も近いのが B. 「長期間腐らずに長持ちする食べ物を必要とする人がいる」である。なお、A と C は本問題の該当部分にあたる第 6、第 7 段落に記述なし。
- (4) 第 10 段落 1 文目に、「*peixinhos da horta* に関する不満点は、時間が経つと冷めて柔らかくなってしまうことだ」と述べられている。その言い換えが C. 「長い時間放置されると湿気を帯びてじっとりしてしまう」である。B. 「日本の天ぷらに影響を受けた」は逆である。日本の天ぷらが *peixinhos da horta* に影響を与えられたのである。
- (5) 最終段落の 2, 3 文目には、*peixinhos da horta* の食感が説明されている。粒だった食感があること、最初の一口目の食感がその後も持続すること、カリカリとした食感があることなど詳しく説明されている。その食感を要約すれば B. 「自分が試食した *peixinhos da horta* は完璧にバランスの取れた食感を保持していた」となる。A と C はいずれも記述なし。
- (6) 第 12 段落には、*Avillez* が伝統的ポルトガル料理を新しい水準にまで高めることに非常に興味を持っていることが書かれており、日本人シェフと組んで新しいメニューを出すことを計画しているとわかる。これを要約すれば B. 「新しいポルトガル料理を作り出したいと思っている」となり、適切である。C. 「食物の歴史に関心がある」に関してだが、彼が具体的に歴史に言及しているのは第 3 段落の「*peixinhos da horta* が 1543 年に存在していた」という発言くらいしかなく、他に彼が食べ物全般の歴史に対する関心を示す部分は見つけられないので、不適切である。
- 本文の主たる目的は言うまでもなく日本の天ぷらの元祖である *peixinhos da horta* を詳しく説明したものなので、A. 「日本の天ぷらの起源」が適切である。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！